

男女共同参画社会のための情報誌

かすたねっと

48号



小牧市の “家庭生活での 男女平等意識”について 考えてみました。



参加者

Aさん：70代男性・Bさん：60代男性・Cさん：60代女性

Dさん：60代女性・Eさん：60代女性・Fさん：50代女性

Gさん：40代女性・Hさん：40代女性

Eさん／夫がパートの仕事に就いているのですが、家庭では男女平等で、職場では女性が優遇されていると言っています。

図1を見ると、小牧市では家庭生活で男性が優遇されていると思う人が、48.4%。男女平等だと思う人が33.2%。けれども、全くなれば、男女平等と思ふ人が47%もいる。この差はすごく大きいと思うのだけれど、この差って何だろう？

Gさん／小牧市は全国や愛知県と比較して、子育て世代が多いという調査結果があるんです。

夫婦と子どもの世帯は、小牧市33.8%、全国27.9%、愛知県30.6%です。（図2）

20代では平等に対する男女の意識の差が少ないですが、30代になるとググッと差が開いて、男性の53.6%が平等と考えているのに対し、女性は33.3%しか平等と思っていたいようです。

Bさん／男性が家庭では平等だと思う割合が

Eさん／夫がパートの仕事に就いているのですが、家庭では男女平等で、職場では女性が優遇されていると言っています。

図1を見ると、小牧市では家庭生活で男性が優遇されていると思う人が、48.4%。男女平等だと思う人が33.2%。けれども、全くなれば、男女平等と思ふ人が47%もいる。この差はすごく大きいと思うのだけれど、この差って何だろう？

Gさん／子育てはストレスが溜まると言けれど、育児に対するストレスよりも夫に対する不満が大きいのではないか。

Hさん／お母さんが洗い物をしていて、「起きる時間」と「起きられる時間」の違いは有ると思います。

こういう違いを理解して欲しいのです。

Fさん／お母さんが洗い物をしていて、「起きる時間」と「起きられる時間」の違いは有ると思います。

子どもがオムツが濡れて泣き出したら、言わなくて済む。オムツ換えでも、洗い物でもどちらでもいいのに、気付いてくれないのよね。ということを聞いたことがあります。

Gさん／女性は不満を察して欲しいと思っているのに、男性は気付かないですよね。

Aさん／“察して欲しい”っていうのは難しいよ！

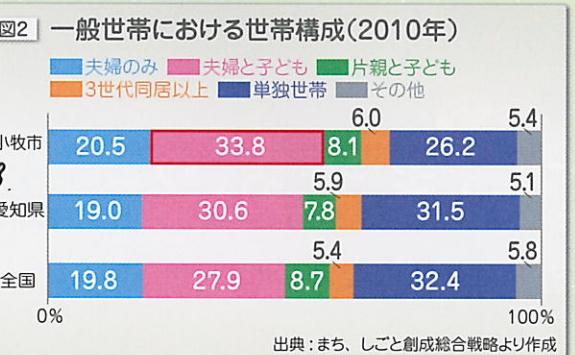
やさしく言ってくれればやるのに…

Hさん／そうなんですか？

毎回言うとケンカのもとになるんじゃないかなと思って、言うのを諦めてもいます。

Cさん／伝えないまま諦めてしまうから、30

Bさん／時代が変わってきたのだから社会の意識も変わらなきゃいけないよな。



多いのは、“家庭でも頑張っている”と思っているからだと思うけど、女性はそういうことは思っていないことが多いのかな…?

Gさん／私は、手伝ってくれなくて「ありがとう」と言ってくれるだけで不満が解消されるときもあります。

Bさん／男性だって、紙切れ一枚の給与明細を渡したときにだつて、「ありがとう」、「ご苦労様でした」とて言って欲しいよ。

Fさん／お互いの気持ちを伝えることと、「ありがとうございました」との感謝の思いを言葉で伝えることで、大切ですよ。

Gさん／子育てはストレスが溜まると、育児に対するストレスよりも夫に対する不満が大きいのではないか。

Fさん／「ありがとう」の言葉が、この男女差をうめるポイントかもしれませんね。

Cさん／今の子育て世代は、男性も女性も、仕事を家事も育児も、全てできないといけないみたいね。

Dさん／私の息子夫婦も共働きで小さな子どもを育てています。

夜遅くまでの仕事や、休日出勤もある中、お互い今できることを話し合いながらやつてもらいたい。

Aさん／2人と夫婦ともずっと動いているので体調を崩さないか心配です。

も長時間労働だと倒れちゃうそうだね。

職場に勤かせ方を考えてもらえたらしいよね。

Bさん／時代が変わってきたのだから社会の意識も変わらなきゃいけないよな。

Aさん／最近は働く女性が増えてきたけど、まだまだ総合職を希望する女性は少ないよね。理系を選択する人も。いろいろと現状を変えるのは大変だと思うけれど、どんどんトライして社会の意識を変えていって欲しいな。

Bさん／女性だから家事育児をすべき、といつた時代はもう終わりで、これからは、女性も自己主張ができる時代だよね。Eさん／女性でも家事が苦手な人もいるし、逆に**男性で料理や洗濯が好きな人もいます**しね。それが言える時代になつたつことですね。

Fさん／出産は女性にしかできませんが、**産んだ後の責任(子育て)は男女(夫婦)同じ**はすなのに。いろんな意味で女性の負担が大きいように思っています。

Bさん／でも、昔より育休は取りやすくなっているし、**実際に増えている**ように思うよ。

Dさん／確かに、昔に比べると女性は生き方を選べる時代になつたと思うわ。

Fさん／確かにそうですよね。その一方で、女性が働くことで**少子化(未婚・晩婚)や、子育てに不安なことができないませんか?**

Aさん／最近は働く女性が増えてきたけど、まだまだ総合職を希望する女性は少ないよね。理系を選択する人も。いろいろと現状を変えるのは大変だと思うけれど、どんどんトライして社会の意識を変えていって欲しいな。

Bさん／女性だから家事育児をすべき、といつた時代はもう終わりで、これからは、女性も自己主張ができる時代だよね。Eさん／女性でも家事が苦手な人もいるし、逆に**男性で料理や洗濯が好きな人もいます**しね。

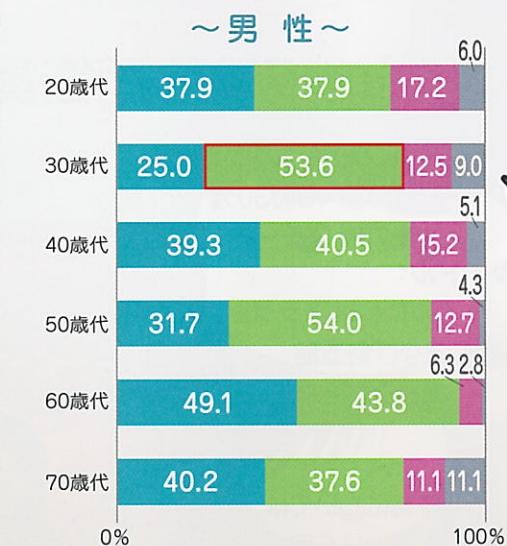
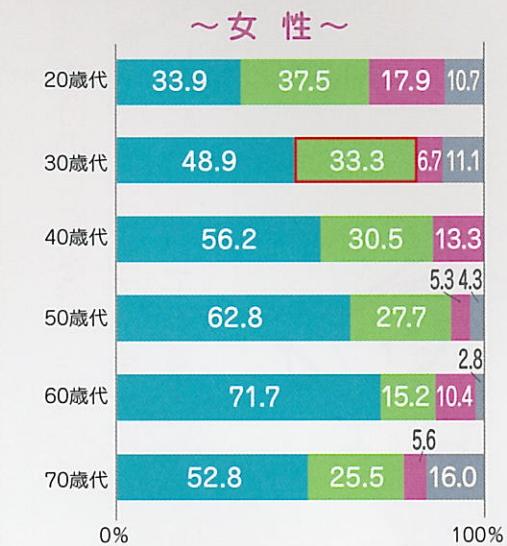
Aさん／休暇中をマイナスとしないっていうのは、実際に働いていないのだから、その間、**頑張って働いていた人にしてみれば不平等**なのでは?

Cさん／会社からみるとマイナスだけど、社会全体からみるとプラスのような:

Gさん／育休を取得して会社に残つて欲しい人ほど、辞めていく人が多いとも聞いたことがあります。

図3 家庭生活における男女の平等意識

■男性が優遇されている ■平等 ■女性が優遇されている ■その他



出典：第3次小牧市男女共同参画基本計画より作成



Eさん／子どもに寄り添う時間を十分にとることができるかも心配ね。

Fさん／女性の家庭内での不満が、「仕事もない、しなくては。だけど育児もちゃんとしなくちゃ」という**気持ちの板ばさみ**で生まれてくるのではないでしようか? そういつた思いをパートナーに伝えることができ、理解し、協力してもらえると、ずいぶん気持ちが楽になるのではないでしようか?

Cさん／社会全体で考えると、**子どもって大事よ**。

会社(企業)は経営が大事なのだから、会社にフォローを期待するのは厳しいと思います。国全体で育てるという考え方にはならないかしら? 教育費を無料にするとか…。





世代によつて、性別によつてもこんなに考へてゐることが違うのだ：というのが実感です。

何度も会話をすることを少しずつ距離が近づいたように感じました。

あなたは大切にしていますか？

周りの人といろいろな話をしてみてください。

相手のこと、自分のことを、

次回は、「職場や就職活動での男女平等意識について」取り上げてみます。

国際女性デー名画鑑賞会

日時：平成29年3月5日（日）

午前の部 10時30分～

午後の部 2時～

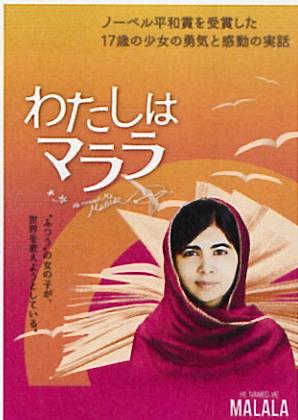
タイトル：

「わたしはマララ」

場所：まなび創造館

あさひホール

*詳細については、広報1/15号をご覧ください。



みらい塾修了式・公開講座

日時：平成29年3月18日（土）

午後1時～

講師：田嶋陽子氏

（女性学研究家）

「男らしい、女らしい
ってなあに」

まなび創造館

場所：あさひホール



*詳細については、広報2/1号をご覧ください。

男女共同参画単語帳

ジェンダー

生物的な性差ではなく、社会的、文化的につくられた性差のことです。たとえば、現在の日本で「女性（男性）は、～すべき」と言われること。

Gender

キャリアロス

労働者が休暇などで職場を離れることにより、査定、昇進面でのマイナス、スキルやモチベーションの低下を招き、復帰後のキャリアに支障が出る現象を指す言葉です。

Carrier loss

編集後記

「男女平等」について、日本でも法律・条例・制度が整備され、形の上では、男女平等が根付いたように思われます。しかし現実は、考え方の個人差、古くからの社会通念等により色々な問題を含んでいるようです。眞の「男女共同参画社会」を阻んでいるのは何か？「かすたねっと」を通して皆で考えていきましょう。

Bさん／男性の働き方の変化も必要だよな。
るつてことだよな。
Eさん／いろいろな形の家庭があるし、皆それのスタイルが大切にされるといいわ
ね。

全員／そうですよね！
お互いの気持ちを尊重しあいながら、決め付けられずに生活ができるといろいろな可
能性が広がりますね♪